



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場会社名 イビデン株式会社
 コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 竹中 裕紀
 (氏名) 佐野 尚

上場取引所 東 名
 TEL 0584-81-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	69,541	1.9	3,893	△6.2	3,335	△4.0	△106	—
24年3月期第1四半期	68,250	△1.3	4,152	△51.7	3,475	△56.3	1,398	△53.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △7,678百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 568百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.74	—
24年3月期第1四半期	9.77	9.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	410,770	265,356	63.3	1,818.41
24年3月期	425,871	274,901	63.4	1,885.53

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 260,197百万円 24年3月期 269,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成25年3月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	145,000	3.5	7,000	7.9	5,000	94.0	1,000	46.0	6.99
通期	300,000	△0.3	18,000	16.0	16,000	△1.6	9,000	△15.5	62.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	150,860,557 株	24年3月期	150,860,557 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,769,987 株	24年3月期	7,769,826 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	143,090,607 株	24年3月期1Q	143,091,396 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景とした投資の持ち直しや、個人消費も底堅く推移するなど回復の兆しが見えてまいりました。一方、欧州景気の減速、米国経済の回復遅れ、円高水準の定着など企業を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末の新製品が続々と投入され成長は継続しておりますものの、企業間競争は激しさを増しております。また、パソコン需要も、欧米、中国市場において弱含みで推移しております。

自動車排気系部品業界におきましては、国内・北米市場は底堅く推移しているものの、欧州における販売台数の低迷と新興国需要の停滞により不透明な状況にあります。

このような情勢のもと、当社グループでは連結中期経営計画「Global IBI-TECHNO 100 Plan」の最終年度にあたり、事業の構造改革を積極的に進めております。具体的には、成長が見込まれる市場に経営資源を集中的に投入するとともに、グローバルな最適地生産体制の構築を加速させております。また、独自の自主改善活動を全社で展開し、ロス改善を軸とした収益基盤の向上に努めております。

これらの結果、当第1四半期の売上高は695億41百万円と前年同期に比べ、12億91百万円（1.9%）増加いたしました。営業利益は38億93百万円と前年同期に比べ2億58百万円（6.2%）減少し、経常利益は33億35百万円と前年同期に比べ1億39百万円（4.0%）減少しました。四半期純損益にしましては、関係会社株式会社ティーアイビーシー解散及び清算に伴う費用等、特別損失を28億94百万円計上したことにより、1億6百万円の四半期純損失（前年同期は13億98百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

プリント配線板は、市場の成長が著しいスマートフォンやタブレット型携帯端末向け製品の受注量が増加したことにより、売上増となりました。

小型・薄型パッケージ基板は、スマートフォンやタブレット型携帯端末向け製品の受注が底堅く推移し、売上増となりました。

高機能・多層パッケージ基板は、パソコン市場が引き続き低迷するなか、新世代品への切替えが順調に進み、売上は前年並みを確保しました。

以上により、電子事業の売上高は、418億96百万円となり、前年同期に比べ7.5%増加しました。同事業の営業利益は24億78百万円となり、前年同期に比べ29.2%増加しました。

セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）は、主力の欧州乗用車市場が減速したことにより、売上減となりました。

触媒担体保持・シール材は、海外需要が弱含むなか、国内の自動車購入優遇措置に伴う需要増により受注は底堅く推移し、売上増となりました。

特殊炭素製品は、太陽電池市場が世界的な調整局面にあることに加え、半導体業界も振るわず、シリコン製造装置用部材の受注が低迷したことにより売上減となりました。

以上により、セラミック事業の売上高は、175億27百万円となり、前年同期に比べ9.5%減少しました。同事業の営業利益は12億82百万円となり、前年同期に比べ30.6%減少しました。

建材事業

メラミン化粧板は、住宅着工数が持ち直すなど市況が回復に向かい、売上増となりました。

住宅設備機器は、新規事業の拡販に努めましたものの、既存顧客向け資材の販売低迷を補えず、売上は微減となりました。

以上により、建材事業の売上高は、39億91百万円となり、前年同期に比べ0.7%減少しました。同事業の営業損失は2億51百万円（前年同期は2億65百万円の営業損失）となりました。

建設事業

法面工事部門は、防災・減災の関心が高まるなかで受注は堅調に推移し、売上増となりました。

造園工事部門は、民間の大型工事案件がなく、売上は微減となりました。

以上により、建設事業の売上高は、16億5百万円となり、前年同期に比べ1.6%増加しました。同事業の営業利益は2億53百万円となり、前年同期度に比べ35.3%増加しました。

その他事業

合成樹脂加工部門は、震災による影響は徐々に回復に向かい、自動車部品向け発泡樹脂製品の需要が堅調に推移したことにより、売上増となりました。

農畜水産物加工部門は、主力の乾燥食材が、震災に伴う一時的な需要が一服したことにより、売上減となりました。

以上により、その他事業の売上高は、45億19百万円となり、前年同期に比べ4.7%増加しました。同事業の営業利益は56百万円となり、前年同期に比べ50.4%減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ151億1百万円減少しました。主な増減としては、たな卸資産が38億58百万円、投資有価証券が18億61百万円それぞれ増加し、有価証券が121億37百万円、受取手形及び売掛金が85億29百万円それぞれ減少しております。

負債では支払手形及び買掛金が37億26百万円、短期借入金が14億77百万円減少しております。また純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などにより、95億44百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月25日に公表いたしました連結の業績予想のうち、平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期につきまして業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成24年8月1日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,960	77,102
受取手形及び売掛金	58,097	49,567
有価証券	27,194	15,056
商品及び製品	14,083	16,275
仕掛品	8,327	10,123
原材料及び貯蔵品	13,408	13,279
繰延税金資産	2,107	2,050
その他	10,884	13,851
貸倒引当金	△423	△405
流動資産合計	211,639	196,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,107	69,431
機械装置及び運搬具（純額）	58,258	62,112
土地	17,904	17,824
リース資産（純額）	2,376	2,192
建設仮勘定	27,022	19,525
その他（純額）	4,208	4,210
有形固定資産合計	177,878	175,296
無形固定資産	5,286	5,014
投資その他の資産		
投資有価証券	25,070	26,932
長期貸付金	43	42
繰延税金資産	3,953	4,689
その他	2,400	2,284
貸倒引当金	△399	△391
投資その他の資産合計	31,067	33,557
固定資産合計	214,232	213,867
資産合計	425,871	410,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,613	46,887
短期借入金	18,716	17,238
未払金	13,363	15,318
未払法人税等	858	363
繰延税金負債	23	17
賞与引当金	3,623	1,828
役員賞与引当金	113	—
設備関係支払手形	3,987	4,078
その他	9,202	9,643
流動負債合計	100,502	95,376
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	5,021	5,016
リース債務	1,003	937
再評価に係る繰延税金負債	157	157
退職給付引当金	237	145
役員退職慰労引当金	661	556
繰延税金負債	1,837	1,847
その他	1,548	1,377
固定負債合計	50,468	50,037
負債合計	150,970	145,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,331	68,330
利益剰余金	184,000	181,996
自己株式	△30,641	△30,641
株主資本合計	285,842	283,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,483	1,097
繰延ヘッジ損益	△27	—
土地再評価差額金	71	71
為替換算調整勘定	△18,567	△24,809
その他の包括利益累計額合計	△16,040	△23,640
新株予約権	1,281	1,330
少数株主持分	3,817	3,828
純資産合計	274,901	265,356
負債純資産合計	425,871	410,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	68,250	69,541
売上原価	51,241	53,688
売上総利益	17,008	15,852
販売費及び一般管理費	12,855	11,958
営業利益	4,152	3,893
営業外収益		
受取利息	61	77
受取配当金	282	286
負ののれん償却額	0	—
補助金収入	—	949
その他	292	156
営業外収益合計	637	1,470
営業外費用		
支払利息	61	102
設備賃貸費用	3	3
持分法による投資損失	24	—
為替差損	1,107	1,632
その他	116	289
営業外費用合計	1,314	2,028
経常利益	3,475	3,335
特別利益		
固定資産売却益	2	21
補助金収入	28	—
新株予約権戻入益	14	1
その他	0	0
特別利益合計	45	23
特別損失		
固定資産除却損	107	68
減損損失	—	0
投資有価証券評価損	422	4
関係会社整理損	—	2,894
特別損失合計	529	2,967
税金等調整前四半期純利益	2,991	391
法人税等	1,557	456
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,434	△65
少数株主利益	35	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,398	△106

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,434	△65
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	223	△1,398
繰延ヘッジ損益	20	27
為替換算調整勘定	△1,109	△6,242
その他の包括利益合計	△865	△7,612
四半期包括利益	568	△7,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533	△7,705
少数株主に係る四半期包括利益	34	27

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	38,967	19,365	4,020	1,580	63,934	4,315	68,250
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	9	4	2,764	2,782	1,803	4,586
計	38,971	19,375	4,025	4,345	66,717	6,119	72,836
セグメント利益又は損失(△)	1,918	1,846	△265	187	3,687	113	3,800

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,687
「その他」の区分の利益	113
セグメント間取引消去	107
全社費用及び利益(注)	243
四半期連結損益計算書の営業利益	4,152

(注)全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	41,896	17,527	3,991	1,605	65,021	4,519	69,541
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	16	0	3,008	3,030	1,281	4,312
計	41,901	17,543	3,992	4,614	68,052	5,801	73,853
セグメント利益又は損失(△)	2,478	1,282	△251	253	3,762	56	3,818

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,762
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	△38
全社費用及び利益(注)	113
四半期連結損益計算書の営業利益	3,893

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

特記すべき事項はありません。

(6) 重要な後発事象

特記すべき事項はありません。